



学校教育目標：心豊かな子 たくましい子 自ら学ぶ子

みんな友達 えがおの原小

校長 佐藤 不二雄

寒暖の差が激しい4月でしたが、健康管理はいかがですか。1年生は徐々に授業や通学班にも慣れ、1年生を迎える会では、上級生と一緒にしっかりと校歌を歌っていて頼もしく思いました。今年も昨年同様、避難訓練・引き渡し訓練では、「4月当初において、これほど素晴らしい態度。目を見て静かに話を聞く児童の姿勢。」に、私は、とても感心しました。

痛ましい事件や事故の報道が毎日のように流れます。あふれる情報をどのように取捨選択していけばよいのか、大人の判断力が試されているように思います。「絶対」のない世の中の事象から、子どもたちをどう見守っていけばよいのか、苦慮するところです。

正しい知識や情報を得るためには、五感を鋭く働かせる必要があります。話し手の方を向いて得る情報は、とても重要となります。挨拶をするときも「相手の顔を見て」、学習するときも「相手の顔を見て」取り組むことによって、多くの知識・情報を得ることができます。しかしながら、無条件でスマホに流れてくる膨大な情報は、すべて正しいものとして受け取ってよいものか。大人の判断が試されます。常に大人が手本を示すことにより、子どもが健やかに成長するものです。学校においては教員や上級生が、家庭においては保護者や兄弟姉妹が、「みんな友達 えがおの原小」のために、全力で取り組んでいかななくてはなりません。

やんちゃ盛りの小学生ですから、多少羽目を外すこともありましよう。そこは、われわれ大人がしっかりと手綱を締めて、常に子どもたちの手本となるよう行動しなくてはなりません。ぜひ御協力をお願いいたします。

さて、心地よい5月の風にのって、今月も原山小ではたくさんの教育活動を展開します。どの子にも得手不得手はありますが、たくさんの経験を経て人間は成長するものです。得意の運動で活躍する子、大好きな音楽で活躍する子、静かに読書を楽しむ子…など、何か一つでもよいからそれぞれに適した場面で笑顔になってもらえれば幸いです。